



西小林中学校だより

平成27年度 11月号
平成27年11月20日発行
文責：校長 吉牟田 浩一

■命の大切さを考える講演会を行いました■

10月28日（水）、熊本県に在住されている米村州弘さんをお招きして、命の大切さを考える講演会を行いました。米村さんは、長男を病気で亡くされていましたが、さらに、今から12前年に、突然、大切な娘さんをメールで知り合った男に殺害されるという悲劇に見舞われました。それまで明るかった家庭が、一瞬にして悲しみに包まれ、家族の笑顔はもちろん、会話も全くなくなってしまったということでした。また、米村さんは、パソコンを買ってあげなければ、娘さんが殺されずに済んだのではないかという自責の念にかられ、生きる気力を失っていたそうです。しかし、10年以上経って、命の大切さについて人に話をすることが周囲の人を救うことになると気づかされ、ようやく前向きの気持ちになり、講演活動をするようになったという話をされました。



生徒たちは、終始米村さんの話を真剣に聞いていました。公演後、生徒たちからは、「自分も命を大切にしたい。」「自分の命を大切にすることと、子どもを失った時の家族の悲しみやつらい気持ちが伝わってきた。」等の感想が聞かれました。

♪楽しく！すばらしかった鑑賞教室♪

11月5日（木）に本校の体育館において鑑賞教室を行いました。演奏者は、えびの市出身のエレクトーン奏者の小倉理恵さんでした。小倉さんは、5歳からピアノと電子オルガンのレッスンをはじめられ、加久藤小・中、小林高校、国立音楽大学を卒業されました。ヤマハエレクトーンコンクール九州大会において、2年連続でグラントプリを受賞されるなど、輝かしい実績を残されています。



現在は、東京を中心に活動されており、楽団での演奏やバンドのリーダーとして活躍したり、テレビドラマの演奏の吹き替えやテーマ曲の制作、映画の音楽を担当したりするなど、音楽に関する様々な活動をされているということでした。

当日は、「もみじ」や「オペラ座の怪人」、校歌を様々なバージョンで演奏するなど、生徒に親しみのある曲を演奏されました。また、生徒たちが歌う「レット・イット・ゴー」の伴奏をしたり、「道化師のギャロップ」を栗坂先生のマリンバと一緒に演奏したりするなど、素晴らしい演奏を聴かせていただきました。



生徒たちは、小倉さんの素晴らしい演奏と、両手と足を巧みに使って演奏される姿に、とても感動した様子でした。

○職場体験学習を行いました！○

11月12日（木）と13日（金）の2日間、キャリア教育の一環として2年生全員が、職場体験学習を行いました。今年も、多くの事業所にご協力をいただきました。この職場体験学習では、学ぶことや働くことの意義を理解し、望ましい職業観や勤労観を育み、主体的に進路を選択・決定する態度や意欲を高めたり、働く人との触れ合いや交流を通して、コミュニケーション能力や社会的スキルを身に付けたりすること等を目的に実施しています。



ご協力いただきましたコーポ小林、セブンイレブン清涼台店、さんまるこ亭、押領司病院、西小林保育園、西小林小学校、トヨタカローラ宮崎小林店、南国屋今門、サンキューカード店、ルーツプレイス、農業生産法人「夢」、池井病院、中央消防署の皆様方、大変お世話になりました。ありがとうございました。なお、12月18日（金）には、今回の職場体験学習で学んだことを、各事業所ごとに発表する予定です。

◇みんなでやってみよう！～小学1年生との交流活動～◇

11月19日（木）に、コスモス科（総合的な学習の時間）の授業の一貫として、中学3年生が小学1年生と交流する「みんなでやってみよう」を行いました。まず、本校体育館に集まって開会式を行いました。



その後、5つの場所に分かれて、中学生が企画・準備した、ゲームや工作、カルタ遊び等を行いました。小学1年生の子どもたちは、みんな楽しそうに交流活動をしていましたが、中学生たちも、自分たちが考えた交流活動で、小学生が笑顔で楽しく活動する姿を見て、とても嬉しそうでした。